



北区おすすめ! 大阪・関西万博の楽しみ方

共同館(コモンズパビリオン)では、様々な国の人と交流でき



いろいろな国の人と交流できて楽しいですね。

会場を歩いているだけでワクワクする体験でした。印象に残ったのは「Dialogue Theater」の「いのち」館です。入館時にその日のテーマの紙が配られ、来場者の1人と、スクリーンに映るもう1人との対話が始まります。この日は「今日とつながっているいちばん遠い過去を教えてください」。忙しさにまけて祖父の死に立ち会えなかった後悔などが語られ、「自分はどうだろう」「いのちって尊いな」と改めて考えました。

ランチはオーストラリア館のクロコダイル・ロールなどをテイクアウトし、大屋根リングの下のベンチで食べました。複数の国が共同で出展する共同館(コモンズパビリオン)では、モルドバの展示で素敵なイヤリングを見つけ、担当の方に話しかけました。それがリサイクル素材であること、そしてモルドバがワインの名産地であることなどを説明してくれました。

「いのち」の尊さを改めて考えた

中津在住・子育て支援施設勤務
大住真喜紅さん(50代)



「わがまち北区」では万博に行った方の体験や感想をお届けしていきます。

初回は「テストラン編」。

4月5日、6日のテストランで、一足先に会場を訪れたお2人に、印象に残った

パビリオンや施設、今後の期待について聞きました。

「リング」で感じた世界のつながり

西天満在住・北区健康づくり推進協議会
田中佐起子さん(80代)



大屋根リングに上がると、世界のつながりを感じる

1970年の大阪万博には3歳の娘を連れて行きました。今回は娘がテストランの抽選に当たって連れて行ってくれました。予約していたのは日本館。日本の南極観測隊が見つけたという「火星の石」は、人の頭ほどもある大きさでした。その後、予約なしでも入れるカナダ館、サウジアラビア館などへ。カナダ館は、タブレットを自分で操作して現地の生活や風景が見られるのが面白かったです。

大屋根リングに上がるのは最後に取っておいたのですが、時間切れで周囲の4分の1ほどしか回れず残念。でも外に海が広がり、リングの中では世界がつながっているのを感じました。現金が全く使えないことなど、準備せずに行く戸惑う人もいます。テストランの経験を友人たちに伝えて、今度は一緒に行きたいです。アメリカ館の「月の石」や、イタリア館の「アトラスの彫刻」を見たいですね。

万博をもっと楽しむコツ～達人に聞く～

万博の達人・藤井秀雄さんに、万博をもっと楽しむコツを教えてくださいました。

□ アプリを登録して活用しよう

おすすめは「EXPO Visitors」「EXPOホンヤク」「Virtual EXPO(バーチャル万博)」

□ バーチャル万博アプリで予習しよう

事前にパビリオンの雰囲気をチェックして、見たいパビリオンを決めるのもおすすめ

□ 会場で使えるカードなどを確認しておこう

会場は完全キャッシュレスですが、交通系ICカードなど使えるものも多いので、事前にチャージして準備しましょう

□ 17時以降に入れる夜間券を活用しよう

夜間券は1日券の半額以下。夜にはコンサートやショーもありお得

□ チケットIDはプリントアウトして持って行こう

パビリオン予約にはIDが必要。スマホとは別に紙で持っていた方が便利

□ スマホのモバイルバッテリーを持って行こう

会場内ではスマホを使う機会がたくさん。バッテリーが切れると予約したパビリオンでの画面提示や次の予約ができなくなります

□ マイボトルを持って行こう

会場のあちこちに無料で利用できる給水装置があります

□ スタンプ帳を持って行こう

パビリオンや施設を巡り、万博ならではの個性的なスタンプを集めるのも楽しい。デジタルスタンプもあります

□ 各パビリオンのキャラクターをチェックしよう

34ものパビリオンキャラクターは今回の万博の特色の1つ

□ パビリオンにある二次元コードを写真に撮っておこう

各パビリオンの情報を後で振り返ることができます

● EXPO Visitors

2025年大阪・関西万博の公式アプリです。パビリオンやレストランなどの様々な施設、現在地がすぐにわかるマップ機能やたくさんある万博関連サービスを集約して紹介しています。



詳細はこちら▲

● EXPOホンヤク

日本語を含む30言語に対応しています。スタッフへの問合せや、外国人来場者とのコミュニケーションの場面で「言葉の壁」を越えて会話を楽しむのに役立つアプリです。



詳細はこちら▲

● Virtual EXPO(バーチャル万博)

大阪・関西万博のバーチャル会場に、自分のアバターを作って参加。3DCGで再現された実際のパビリオンやイベント施設を体験することや、家族や友人と一緒に世界中の人が集まるバーチャル会場を巡り交流することができます。



詳細はこちら▲

